

平成 27 年 1 月 5 日発行

有明ニュース

平成 27 年 1 月号 No21



がん研有明病院



新年の御挨拶

病院長 門田守人



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

激しさを増す集中豪雨や御嶽山の噴火など、大自然の異常に驚かされた一年が過ぎました。今年は平和な一年を期待したいものです。

病院では昨年の 4 月に国のがん対策基本計画に基づき、「緩和ケアセンター」を設置いたしました。センター内には緩和治療科、がん疼痛治療科、腫瘍精神科の三診療科を置き、その他、医療連携部、がん相談支援部、診療情報管理室を配置しました。これは、都道府県がん診療拠点病院として地域全体の患者さんを対象として緩和ケアを充実するためであります。また、8 月には既に着工しておりました手術室 4 室を増設し、稼働を開始しました。そのスペース確保のため HCU(ハイケアユニット)を病棟配置としなければならなくなりました。術後患者さん収容のため、ICU 病床は 8 床から 10 床へと増設しております。

さて、癌研究会の病院の新設は 1934 年に遡ります。この年の 5 月 20 日に康楽病院として西巢鴨の地に初めて誕生いたしました。昨年 2014 年がちょうど 80 周年記念の年で、5 月 24 日(土)に東京ビッグサイトで「開院 80 周年記念講演会」を開催致しました。過去を振り返り、未来のがん研病院像を語りあいました。病院長として、身近なところを細やかに見る『虫の目』、全体像を俯瞰して見る『鳥の目』、時流あるいは潮流を見る『魚の目』の三つの目を備えた医療人になることをお願いしました。今後、更なる発展を期待して頂きたいと思います。

現在、中庭で工事が始まっております。放射線治療設備を含む新棟建設工事です。今後高齢社会におけるがん治療に応えるための増設であります。皆様には関係の工事等でご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解・ご容赦のほどよろしくお願いいたします。

いつでも、だれでも、どこでも緩和ケアが受けられるようにするために

緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー・がん看護専門看護師 濱口恵子

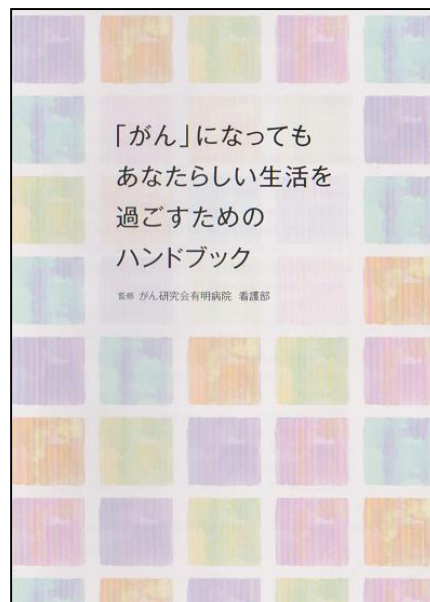
わが国は法律を定めてがん医療を推進し均てん化をはかっていますが、その強化項目の一つに「がんと診断されたときからの緩和ケアの推進」があります。がんの治療法として代表的なものは、手術療法、化学療法、放射線療法の3つですが、近年明らかになったのは、治療と緩和ケアを並行することの効果です。さらにがんになっても安心して自分らしく生きるためには緩和ケアは不可欠です。

たとえば、緩和ケアによってがん治療の開始が難しい人が治療可能になる場合があります。疼痛緩和により硬い放射線治療台で同一体位が確保できるようになったり、一方、日中50%以上起きていられるようになって（Performance Status 2以上に）化学療法が可能になったりします。また、がん治療に伴う有害事象によるさまざまな苦痛を予防・緩和することによってがん治療を継続・完遂することにつながります。

“緩和ケアは終末期ケア？”という誤解がまだまだ多くありますが、がんと診断され治療法を検討する際の心理的支援を含めた緩和ケアを、すべてのがん患者さん・ご家族に対して外来・入院を問わずに提供し推進することを目指して、当院では平成26年4月に緩和ケアセンターが開設されました。

緩和ケアセンターには、緩和・がん疼痛治療部、医療連携部、がん相談支援部（がん相談支援センター）、診療情報管理室（兼務）が配置され、医師11名、看護師9名、MSW6名、薬剤師2名（兼務）、臨床心理士1名、事務1名（兼務）が所属しています（平成26年12月現在）。有明ニュースの前号（平成26年9月号）にもその概要が記載されています。

がん研究会有明病院看護部で、「がん」になってもあなたらしい生活を過ごすためのハンドブックを作成する際にも緩和ケアセンターがん相談支援部の看護師3名が中心となって関わりました。がんになってもその人らしく、さまざまな苦痛を上手に緩和して付き合う方法を紹介したものです。当院のホームページより制作協力の（株）タイカを通して皆様にお届けすることが可能です。当院では外来・病棟でお配りしています。



今後も多職種・多部門で力を合わせて緩和ケアの推進にむけて活動していきます。

がん研有明病院ホームページからの申込：

http://www.jfcr.or.jp/press_release/patient/book.html

緩和ケアセンターがん相談支援部 がん看護専門看護師 花出正美

緩和ケアセンターがん相談支援部では、都道府県がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」として活動しています。

●対面相談：医療ソーシャルワーカー相談

がんになったことで生じるさまざまな不安（医療費、仕事、生活全般）について、医療ソーシャルワーカーが相談に対応します。

＜2013 年度利用者 287 人＞



●対面相談：がん看護相談

病気、治療や副作用、今後の治療の方向性、療養生活に関連した迷いや悩みについて、専門看護師・認定看護師が、みなさんと一緒に考え取り組みます。

＜2013 年度利用者 院内 751 人＞

●電話相談

医療ソーシャルワーカーや看護師が、みなさんからの電話での相談に対応しています。個別の治療適応などに関しては、当院専門医によるセカンドオピニオンなどをお勧めすることもあります。

＜2013 年度利用者 院内 626 人、院外 1,117 人＞

●がん研有明病院サポートグループ

1 ヶ月に 1 回、がん研有明病院の患者さん・ご家族の交流の場として、サポートグループを開催し、医療者も一緒に参加しています。開催予定は、病院掲示板、当院ホームページなどでお知らせしています。



「がん相談支援センター」は、がん研有明病院にかかっている患者さん・ご家族はもちろん、他の病院にかかっている方、一般市民の方、医療関係者など、どなたでも利用していただけます。場所は、病院 1 階正面玄関総合案内の横です。

電話番号 03-3570-0419（直通）

受付時間 平日 月～金 9:30～12:00

14:00～16:30

*対面相談のご予約もお取りします。

 **がん相談支援センター**
のご案内



 **がん研有明病院**
CANCER INSTITUTE HOSPITAL
がん相談支援部
☎ 135-8550 東京都江東区有明3-8-31
<http://www.jfcr.or.jp>

こんな時、気軽にご相談ください！

- がんと言われて頭が真っ白…
- 不安な気持ちでいっぱい…どうしたらよいかわからない
- がんや治療についてもっと知りたい
- 医師から説明を聞いたけれど、むずかしくてよくわからない…
- どの治療を受けるか迷っている
- 副作用などがつらそうで、治療を乗り切れるか心配…
- つらい症状があって困っている…
- 病気や治療、療養に関わる経済的なことが心配…
- 仕事を続けられるか心配…
- 病気や治療について、親や子ども、友人、職場の人に、どのように話せばよいかわかっている…
- 今後の療養の仕方や療養場所について迷っている…
- 地域包括支援センターは…どこ？
- 介護保険って…なに？
- 自分らしい生活の仕方をみつけない…
- がんと診断された時からの“緩和ケア”って…なに？
- 将来もしも、病状が変化した時のための備えを整えたい…
- 家族としてどのように本人を支えることができるのか悩んでいる… など

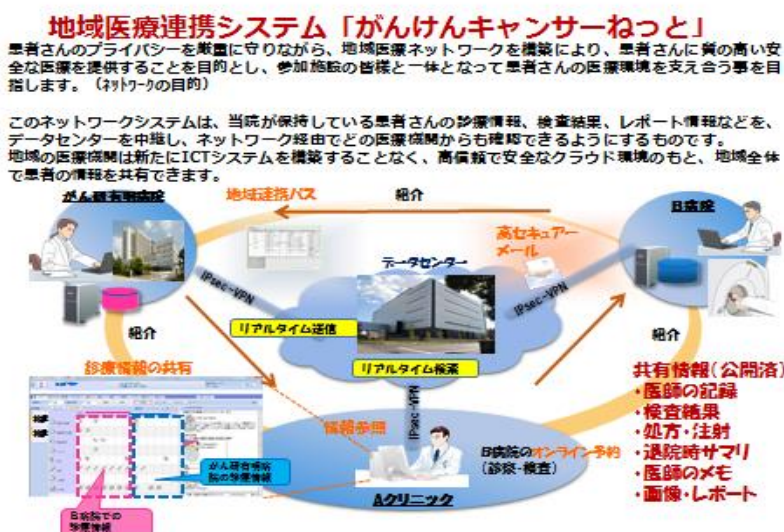
当院の医療連携の取り組みについて

当院は日本を代表するがんの専門病院として、がん治療に特化した診療を行ってまいりました。

がん治療に関しては、併設されたがん治療の研究現場（がん研究所）との連携により、質の高い医療を提供し、患者さん本位のチーム医療を実践できる点が当院の大きな特徴です。

患者さんのサービス向上を図るためのいくつかの取り組みをご紹介します。

- 1) がん専門病院であるが故に、特に循環器分野・糖尿病分野の診療については弱い部分がありましたので、東京都済生会中央病院、榊原記念病院と連携協定を結び、より専門的な検査、治療が必要な患者さんには、診療紹介させて頂き、フォローする体制を確立しています。
今後も地域の医療機関と連携を進め、患者さんへのサービス向上を図ります。
- 2) 乳腺センターや消化器外科においては、ふたり主治医制を進めています。
当院で手術等の治療を行い、症状が落ち着いている患者さんを当院の治療方針に賛同いただいた連携登録医療施設（72 施設）へ紹介させていただき診療分担をおこなうことで、患者さんの通院や診療待ち時間の軽減を図り、地域と協力しながらで患者さんを診てまいります。
- 3) 当院を信頼頂いている全国の医療機関に「患者紹介連携施設」となっていただき、患者さんの紹介・逆紹介をスムーズに行なっています。（平成 26 年 11 月現在 495 施設の登録を頂いております）
- 4) 「がんけんキャンサーねっと」というシステムを構築し運用しています。ご紹介頂いた患者さんの当院での診療内容（電子カルテ）の一部情報を、システムに登録して頂き、患者さんの同意書をご提出いただければ、PC から閲覧いただけます。電話や文書でのやり取りをしなくてもリアルタイムで情報閲覧が可能となっています。先生方にはインターネットに接続可能な情報閲覧専用のパソコンをご用意いただくだけです。





世田谷区医師会での講演会風景

5) 当院の診療科の特色、治療内容等を知っていただくため講演活動を積極的に行っています。当院全科におきまして、対応が可能です。ございます。

がん研有明病院で取り組んでいるがん治療について、先生方の研修会などで講演のご要望がございましたら、是非お問い合わせください。

毎年開催しております、病院紹介セミナーを今年2月26日（木）に開催いたします。

皆様へはすでにご案内状をご郵送させていただいていますが、今回は低侵襲治療に関しまして大腸外科、泌尿器科にて講演をさせていただきます。講演後は、当院各科医師が先生方をお迎えしまして、意見交換をさせていただきたいと存じます。

顔の見える連携を取らせていただきたいと思いますので、是非ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。

【 日 時 】 平成27年 2月26日（木） 19時00分 ～ 21時00分

【 場 所 】 ソラシティカンファランスセンター ソラシティホール

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

ソラシティカンファランスセンター 2F

〔交通〕 JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 聖橋口から徒歩1分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B2出口直結

(会場アクセス URL <http://solacity.jp/cc/access/>)

【 内 容 】 18:30 ～ 受付

19:00 ～ 開会、門田病院長より挨拶

19:05 ～ 講演会（がん研有明病院における低侵襲手術について）

① 消化器外科 秋吉高志 腹腔鏡下大腸癌手術の現状

② 泌尿器科 増田 均 泌尿器科癌に対する低侵襲治療

19:40 ～ 診療科医師との意見交流会（懇親会）

お問い合わせがございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。

がん研有明病院

医事部 医療連携課

TEL03-3570-0253

FAX03-3570-0286

■ お知らせ ■

グランドカンファランスのお知らせ

当院では、コメディカルも含めたMDT(multi-disciplinary team)meetingとして、毎月1回(原則第4火曜日 18:00~19:30)グランドカンファランスを行っています。
診断―病理所見―治療―病理所見―結果(予後)といった全体の流れを重視し、各診療科が輪番で症例を選択しています。
また、毎回会終了後にアンケートを実施し、出席者満足度などを調査し、常に改善を図っています。

外部施設の先生方にもご参加いただき、がん研有明病院の診療を第三者から評価してもらい、さらに連携を深める機会とさせていただきたいと考えております。
ぜひご参加ください(事前申込みは必要ありません)。

詳細は、当院ホームページ 「医療関係者の方へ」 をご覧ください。

医療連携課 診療予約のご案内

医療連携課では、医療機関の先生方からご紹介をいただいた患者さんの診察・セカンドオピニオンの予約調整を行っております。また、経過報告書の管理、診察に関するご案内等を行っております。お問い合わせの窓口としてご信頼いただけますように、迅速・確実な対応を心がけて行きます。

ご紹介は、下記の電話・FAX でお申込みいただけます。(患者さん自身でお電話いただき予約することもできます。)

電話 : 03-3570-0506(医療機関様用)

03-3570-0541(患者様用)

FAX : 03-3570-0254

《編集後記》

あけましておめでとうございます

医療連携の業務、役割が年々多様化しているように感じられます。

医師、看護師、MSW、一般職等医療連携部門一丸となって患者さん、地域の先生方との窓口となるべく頑張ってまいります。今年もよろしくお願いいたします。(石井)

公益財団法人 がん研究会有明病院

発行: 医療連携課

〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31

TEL 03-3570-0253 FAX 03-3570-0286 (E-mail): renkei@jfcr.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.jfcr.or.jp/>